

ヤンゴン素描 11

カンベ駅とその周辺

山形洋一

本連載ではこれまで、もっぱらヤンゴン市の西と南を紹介してきたが、今回は鉄道の東側、ヤンキン町とサウス・オカラパ町の境に位置するカンベ駅を紹介しよう。中央駅から数えて5つ目の駅である。



図 1 カンベ駅。古い木造の駅。東の路線では最も乗客の出入りが激しい。

西のチーミンダインのレンガ造りに対して、東のカンベは木造でつつましく、古風で愛らしい。その切妻の改札口をくぐると「カンベ駅通り」に出る。両側に店が並び、サイカーのベルの音がにぎやかだ。ここでも逞しい女性がたち働いているが、インド系の小売店が多いことが特徴だ。

通りは 1929 年の地図と変わらず、左へゆるやかな弧を描いてモー・カウン寺に達する。外国人観光客と無縁の寺だが、土産物屋と占い師の店が多く、地元では信仰を集めているようだ。カンベの町はその門前町として栄えたのだろう。古くは家畜市場があったという。